

被災地支援の一助に

小野町観光大使のkaho*さんと小野中学生が
熊本地震災害支援ボランティアに協力

小野中学校3年生の皆さんが7月上旬、熊本地震で被災された方へ贈られるマグカップに応援メッセージを書き込みました。

このマグカップは、小野町観光大使のkaho*さんが、被災地で加工したペットボトルをコップ代わりに使っている様子を見て、被災地支援活動の一助として熊本の避難所へ贈ることになったものです。

応援メッセージやイラストから、皆さんの思いが伝わることを願っています。



1・2_応援メッセージやイラストが入ったマグカップ/3_小野中学生とkaho*さん

平成28年度「少年の主張大会」

中学生の皆さんが日頃の考えを発表

小野町青少年健全育成町民会議主催の少年の主張大会が7月4日、小野中学校体育館で開かれました。

この大会は、中学生が日頃考えていることや感じていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対する理解を深めることを目的に毎年開かれています。

小野中学校各クラスから計10人が、それぞれ自分の思いや願いを発表しました。

審査の結果、1年生の村上香穂さんが最優秀賞に選ばれました。村上さんは「貧乏とは欲が多すぎて満足できない人のことです」という、世界で一番貧しい大統領と言われた、ウルグアイのホセ・ムヒカさんの言葉から、「本当の幸せとは何かを考え、物やお金がすべてではないことを知れば、自分の人生をもっと大切に美しい宝物にできるでしょう」と自分の思いを発表しました。

審査の結果は次のとおりです。(敬称略)

なお最優秀賞と優秀賞の3人は少年の主張福島県大会に推薦されます。



発表した10人と関係者の皆さん

- 最優秀賞
「本当の幸せ」 村上 香穂(1年)
- 優秀賞(発表順)
「歩み出す福島」 藤井 嵩大(3年)
「未来の主演」 宗像 早紀(3年)
- 努力賞(発表順)
「今の政治」 大楽 未咲(1年)
「恩返しのできるキャッチャーに」
今泉 綾霞(2年)
「大切なもの、大切にしたいもの」
佐久間莉央(1年)
「真の友情」 矢吹おとめ(2年)
「リーダーとして学んだこと」
柳沼 凜(2年)
「地域行事に参加して」 長久保周子(1年)
「努力と工夫」 石井 理瑚(3年)